

# “結愛” ~ゆい~

## 『職員紹介』

昨年1月より通所リハビリテーション室に所属しています角田かをるです。毎朝、ご利用者様の笑顔にパワーを頂きながら「1日を楽しく過ごしていただくにはどうしたらいいのか？」と考え、スタッフの皆さんにも聞きながら勉強させて頂いています。「姿が見えなかったから寂しいよ」「今日も楽しかった！」と言って頂けるよう日々頑張っています。ご利用者様に一番近い歳でもあるのでなんでもご相談ください！これからもよろしくお願いします。



## 『利用者の声』

今回、当院通所リハビリテーションをご利用されている〇様にご感想を頂くことが出来ました。〇様は、くも膜下出血を発症され、当院に入院しリハビリを受け、退院後、当事業所をご利用されています。「最初は平らなところを歩くにもめまいがして歩くことが出来なかったけれど、今ではミサガを作ったり、通所のお掃除をしています！」と笑い交じりでお話されていました。突っ張り棒の先にウエスを付けて通所棟の壁を拭いたり、モップ掛けや窓拭きをしたりと、たくさん働いて頂いています。今後についてお話を伺うと、「近所へ買い物に一人でいけるようになりたい！」「これからも無尽や同級会の場でみんなと楽しく話したい！」と、とても前向きなお言葉を頂きました。これからも手芸や清掃活動を通じて楽しく一緒に頑張ります！

(通所リハビリテーション室 木暮 嘉人)



## 『職員のちょっと一言♪～訪問リハビリテーション室 作業療法士 上野紗絵香～』

今回は私がこれまでに経験したこと・感じたことを述べさせていただきます。以前は病院勤務をしていましたが、生活の場である自宅での様子を確認し、健康な時と同様の生活に近づけることが大切だと感じた為、訪問リハビリを選びました。リハビリを必要とする方々は、病気や事故など原因は多種多様で、院内では経験したことのない疾患の方もおり驚きました。病院内ではリハビリの施設・機械も整っており、困った時には近くに先輩がいましたが、訪問リハビリでは今までの環境とは全く違い戸惑うこともありました。しかし、すべて自分の考え方・方法で進めて行き、家の環境に合わせた動作指導や家にある物で対応する柔軟な考え方が必要であることに気づき、その成果がやがて自分に戻ってくることを実感できることにやりがいを感じます。利用者様に信頼してもらうにはそれなりに時間はかかりますが、今後も、更に新しい知識・技術を身に付け、利用者様の気持ちに寄り添い、様々な方々とも連携を図りながらこれまで以上に頑張っており取り組んでいきたいと思っております。

